

桃・ぶどうでのオルガミン使用事例



オルガミン使用者の紹介で、2016年の春先から日川白鳳に使い始めた園地です。
農家のコメント:まず始めに気付いたのが葉の違い、色が良く、舟型になり、上に立っている。
紹介してもらった知人に「大分付けてもちゃんと玉が張る」と言われていたため、今年は特に余計に付けたが、ちゃんと玉が張り、ほとんど16玉中心で収穫できた。
2017年も梅雨の時期に雨が少なく特に早生系は全体的に小玉傾向だったが、周りが言うような小玉は少なく、使用してから安定生産に役立っている。N・P・Kがほとんど含まれないアミノ酸葉面散布肥料なので、どの生育ステージに使えるのも良い。山梨県勝沼町

農家のコメント:オルガミンを使い出してみるのが葉の違い。葉がとてもしっかりし、小さめのお椀型になり、葉が立つ。使いだして年々効果が増し、味の上がりも周りとは比べ早かった、花ぶるいもなりにくくなり、雨も少ない年でも周りとは比べ玉張りも良く、糖度も尻で18度以上あり、良い房が収穫出来ている。天候不順の中でも安定生産が出来ており、出荷先からの評判も良い。山梨県笛吹市